

### 小田原の森へ、木の生産現場を訪ねる

開催日時：2024年11月9日（土）10：30～16：00

場 所：小田原市いこいの森

(〒250-0055 神奈川県小田原市久野4 2 9 4-1)

参加人数：8名（2・3年生）

担当教員：加藤憲一 非常勤講師（小田原市長）・齊藤ゆか（人間科学部教授）

連携協力：小田原市農政課、小田原市森林組合

#### ○目的

行政・民間（地域団体等）と協働して、「テーマ」に基づく地域・社会課題を実践的に学び、市民向けに開発されたプログラムを体験する。

#### ○当日の様子

午前中は、小田原市市長の加藤憲一先生より、100年先を考えた「森の豊かさ」を持続的に守り続けるために、「森全体の価値を総合的に高める」の取組みについてご講義頂きました。特に小田原市の「森」の地域ブランド力を高める自治体の戦略を学び、学生同士で意見交換し合いました。

午後は、小田原市森林組合の佐藤健氏より、五感を活かした森歩きをしながら、森の生産現場を体験的に学びました。災害や地域経済だけでなく、教育的な観点から、日常的に森に関わる大切さを学びました。

#### ○学生の感想

落ちていた葉っぱを探したり、木の実や枝を食べたり、今までやったことがない体験ばかりで、五感使って楽しめました。（経営学部2年 M.H）

地方出身の私にとって森林は身近でしたが、今は遠ざかっています。森林は、私たちの生活を彩ってくれるものだ改めて実感しました。（人間科学部3年 M.N）

地球温暖化対策や、小田原で育った木材をどう扱うか、難しい課題を知りました。（国際日本学部2年 T.T）

